

社会資本総合整備計画
〔安全で快適な憩いの空間形成〕

事後評価シート

平成26年3月

(鹿児島県 鹿児島市)

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成 26年 3月

計画の名称	1 安全で快適な憩いの空間形成						
計画の期間	平成22年度～平成25年度（4年間）		交付対象	鹿児島県 鹿児島市			
計画の目標	<p>本市では、少子高齢化を背景にしたニーズの変化や地域コミュニティ形成の観点から地域に密着した公園の整備拡充の要望が強くなってきている。公園の適切な配置を行うとともに、これまで整備した既設公園についても今日のニーズに対応した施設整備等を計画的に行い、利用拡大を図る必要がある。</p> <p>このため、園路広場の整備や優先トイレへの改築等による公園内のバリアフリー化や既存の遊具等の公園施設の改築・更新を実施することにより、高齢者や障がい者等も含めたより多くの市民が利用しやすい安全で快適な憩いの空間の形成を目指すものである。</p>						
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 公園における移動等円滑化ガイドラインに即した園路広場や優先トイレ等のバリアフリー化の整備率 鴨池公園における年間利用者数の増加 						
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値		備考	
				当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)		最終目標値 (H25末)
	公園の設置状況、公園施設の整備状況（園路広場+駐車場+便所）をもとに算出する。 (バリアフリー化の整備率) = (バリアフリー化を実施した公園数) / (開設している公園数) (%)			23%	26%	28%	
	鴨池公園年間利用者数の実績 (※鴨池公園水泳プールの年間利用者数)			75,793人		139,600人	
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,136百万円	A	4,136百万円	B	C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島市公共事業評価検討委員会（内部）での審議 鹿児島市事業評価監視委員会（外部）での審議 	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年1月
	公表の方法
	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ等への掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 基幹事業											全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	公園	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	鹿児島市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	園路等のバリアフリー化、公園施設の改築	鹿児島市						401.9	
1-A-2	公園	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	都市公園事業（かけごし公園）	0.25ha	鹿児島市						588.7	
1-A-3	公園	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	都市公園事業（鴨池公園）	43.2ha 水泳プール等	鹿児島市						3,062.0	
1-A-4	公園	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	鹿児島市公園施設長寿命化計画策定事業	公園施設長寿命化計画策定	鹿児島市						83.6	
									合計					4,136.2	

B 関連社会資本整備事業											全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						
									H22	H23	H24	H25	H26		
									合計						

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

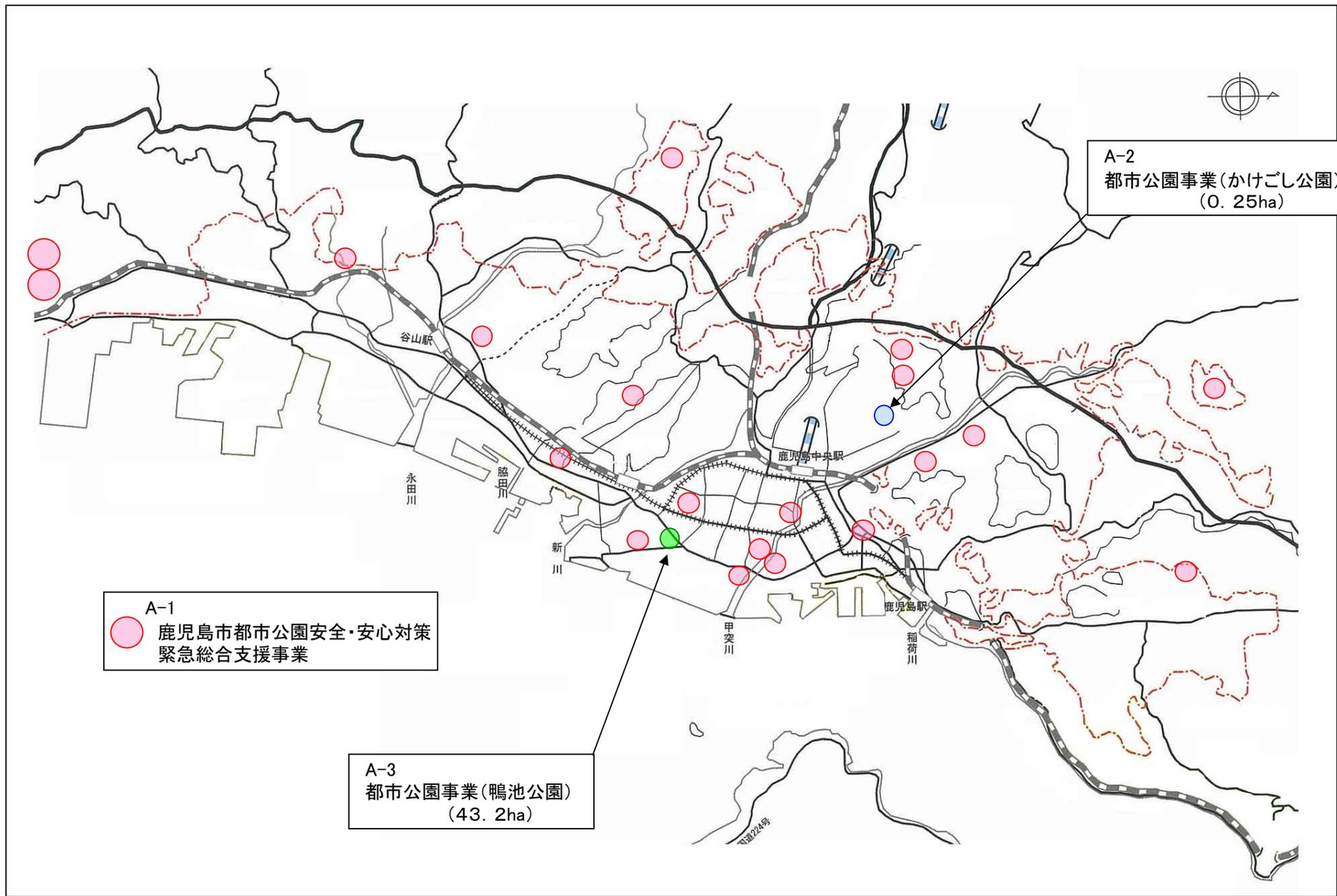
C 効果促進事業											全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）						
									H22	H23	H24	H25	H26		
									合計						

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 公園施設のバリアフリー化を行った結果、公園が高齢者や障がい者等も含めたより多くの市民が利用しやすい憩いの空間となり、誰もが安全で安心して利用できるようになった。 屋内50m温水プールの整備により、年間を通して各種大会が開催できるようになったほか、可動床の採用によりシンクロナイズドスイミング・水球競技への対応や、低年齢者の利用も可能となったことから、施設利用者の利便性が向上し、施設の利用者数が増加した。 			
II 定量的指数の達成状況	指標① バリアフリー化の整備率	最終目標値	28%	目標値と実績値に差が出た要因	・当交付金による整備のほかに、土地区画整理事業などで新規に開設する公園についても、バリアフリー化への整備を進めたため。
		実績値	30% (H24年度実績)		
	指標② 鴨池公園年間利用者数の実績	最終目標値	139,600人	目標値と実績値に差が出た要因	・一般利用者が増加したほか、通年開催している県内の大会が多く開催されていることや、シンクロ教室やベビースイミングなど、多彩な水泳教室等を数多く開催するなど、利用の促進に努めたことにより目標値を上回った。
		実績値	156,370人 (H24年度実績)		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項 (今後の方針等)					

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	1 安全で快適な憩いの空間形成	交付対象	鹿児島県 鹿児島市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成25年度 (4年間)		



(参考図面) 市街地整備

計画の名称	1 安全で快適な憩いの空間形成	交付対象	鹿児島県 鹿児島市
計画の期間	平成22年度 ～ 平成25年度 (4年間)		

